

(株)山本呉服店

揖斐川町・卸売業・小売業(着物・和装小物)

従業員数 / 男性2名 女性7名 計9名 ※令和7年10月現在

エクセレント
POINT

- ①訪問営業から店舗営業への販売方法のシフトで社員の負担軽減
- ②定休日を週1日増やし、人材育成の時間に活用
- ③クラウドでデータを共有し、社員同士がフォローし合える体制を構築



店舗の定休日を週1日から2日に増やし、社員研修や工房見学などを実施。

効率的な営業体制で働きやすく、時間を有効活用

卸売業、小売業

従来、着物は顧客宅への訪問営業が一般的だったが、訪問は社員の負担も大きく、また近年は留守宅が増えて営業効果が薄まったことから、顧客に店舗へ足を運んでもらい、丁寧な接客を行う仕組みへシフトチェンジ。これを機に顧客には、毎月手作りの広報誌を送付したところ、訪問できていなかった顧客の掘

り起こしができ、売上が増加した。「一生涯着付け無料」や「20年間クリーニング無料」など充実したサービスも好評。着物体験ができる文化祭や着物で出かけるツアーなども開催している。

2019年からは、店の定休日を予約の少ない平日に週1日増やし、研修やミーティングなど社員の人材育成に充てたり、各店舗の立地や来店状況に合わせて営業時間を短縮するなど、効率的な営業体制を実現している。

女性社員が大半を占め、以前から子育てに理解ある風土が根付いていたが、さらなる子育て支援として時短勤務を子どもが小学校入学前まで可能としたほか、クラウドで作業データを共有して誰でも代行できるようにするなど、休みやすい環境を整備。3人の子育てをしながら働く木村弥生さんは「一部の

業務は自宅でのテレワークも可能。社員も協力的で働きやすさを感じている」と、風通しの良い雰囲気も伝える。山本千恵子代表取締役も「着物の知識は奥深く、キャリアを積み重ねることが重要」とし、優秀な人材に長く働き続けてもらうため、今後もより良い環境整備に努めていく姿勢だ。



仕事のデータやスケジュールなどの情報を共有し、店舗の垣根を越えてフォローできる体制を構築。